



菊武学園フラッシュニュース

ボウリング部 快進撃が続く

名古屋産業大学では、ボウリング部が昨年の12月から今年の2月にかけて、快進撃を続けています。

文部科学大臣杯 第62回全日本大学ボウリング選手権大会(12月7日～9日、神奈川県・川崎グランドボウル)では、男子5人チーム戦と女子2人チーム戦でそれぞれ準優勝、つづく第53回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会(1月17日～19日、京都・MKボウル上賀茂)では、団体に準優勝を飾りました。

さらに、JB会長杯 第40回全日本年齢別ボウリング選手権大会(2月7日～9日、東京・品川プリンスホテルボウリングセンター)では、19歳以下の部で河内唯斗選手(2年)が準優勝を飾り、第56回全日本大学個人ボウリング選手権大会(2月17日～19日、兵庫・神戸六甲ボウル)においても岩元美咲希選手(4年)が女子の部で準優勝と、好成績を連発しています。

この春に卒業してしまう主力メンバーもいますが、後輩たちがしっかりとバトンを引き継いでくれるものと思います。ボウリング部の活躍にこれからもご声援をよろしくお願いいたします。



(全日本大学選手権大会)



(全日本クラブ対抗選手権大会)

東海テレビ『青春 REC』で紹介される

菊華高等学校では、東海テレビ放送が東海3県の学校を舞台に学生たちが主役の青春ムービーを作る「青春 REC」(毎週火曜日 24:25～24:40)という番組で、2月18日と2月25日に普通科エンタメコースを中心とした内容が放送されました。

「青春 REC」は、人気お笑い芸人が東海3県をサプライズ訪問し、高校生の今を切り取った青春ムービーを制作し、高校生を応援するという番組です。当日は吉本お笑いコンビ「さや香」の2人が訪問してくれました。

「さや香」の2人は、1年生のエンタメコースの教室に入り、「エンタメコースでは、仕事で休んでも公欠となる」「ダンスやウォーキングの授業がある」「学校でオーディションがある」「3年生の卒業公演がすごい」といった情報を集めました。

その情報をもとに、2年生のエンタメコースの授業に入り、プロ講師の先生からダンスを教わる様子やダンスバトルの様子が紹介されました。そして、3年生のエンタメコースの教室では、翌日に迫った卒業公演のリハーサルがされていました。最終的に青春ムービーは、卒業公演にスポットをあてたものとなり、事前練習の様子や守山小劇場でのリハーサル、本番が取材されました。

生徒たちの感動の様子や、終わった後にみんなで抱き合う様子などは、まさに「青春」そのものでした。カメラマンの方も、本番の最初から最後まで泣きながら撮影してくださりました。

3年生を送る会で心温まる時間

菊武ビジネス専門学校では、2月6日に岡谷鋼機名古屋公会堂にて「3年生を送る会」を開催しました。

軽音楽部やダンス部、生徒会からは、素晴らしい歌やダンスが披露され、会場を盛り上げました。また、1・2年生は、各クラスや学年集会で練習してきた、日本の男女混合4人組バンド SEKAI NO OWARI(セカイノオワリ)の楽曲「プレゼント」を全員で合唱し、3年生への感謝の気持ちを伝えました。さらに、生徒会の演出では、部屋を片付けていた際に見つかった写真や手紙を通じて、懐かしい思い出が蘇りました。スクリーンには1年生からの写真が映し出され、担任の先生からのメッセージが読み上げられました。

温かい会に多くの笑顔が溢れ、3年生も学校生活の思い出を振り返るひと時となりました。



(1・2年生全員で合唱)



(幕間でダンスを披露)

第28回卒業作品展を開催

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、2月8日と2月9日の2日間にわたり、名古屋市中区栄のナディアパーク2階アトリウムに於いて、Liberté(フランス語で「自由」を意味する言葉)をテーマにした『第28回卒業作品展』が開催されました。

ブライダルビジネス科ドレス・ヘアメイクコース、フラワービジネス科、トータルビューティ科の2年生が、卒業作品展&3学科合同ショーで2年間の学びの集大成を披露しました。

昨年の夏頃から準備に時間をかけて、ひとつひとつ丁寧に作品を作りました。各チームで力を合わせてお客様に感動が伝わった素晴らしいショーとなりました。

この日までにみんなと過ごした時間はかけがえない思い出です。2日目の千秋楽では、感極まって涙を流す2年生の姿がたくさん見られました。

会場に足を運んでくださった皆さま、ありがとうございました。

年長児 青空教室を開催

菊武幼稚園では、2月19日に年長児を対象とした「青空教室」を開催しました。当日は春日井市役所の職員の方が3名来園してくださり、分別のポイント、資源の再利用のお話や、パッカー車(ゴミ収集車)の仕組みや動きを見せていただきました。

最初に、講堂にて、ペットボトルなどのゴミを燃えないゴミと燃えるゴミに分別することで、資源ゴミはさらに分別を行うことができることを園児たちに紙芝居方式で楽しく教えてくださり、その後、分別した資源ゴミが次にどのような物に生まれ変わるのかも簡易的な装置のような物で実際に見せていただきました。園児たちから歓声が上がっていました。

次に、幼稚園のバス駐車場にて、パッカー車はどのようにゴミを収集するかを園児たちの前で見ていただき、さらに代表の園児たちが燃えるゴミを収集車に投げ入れる体験もさせていただきました。園児たちは、ゴミを出さない工夫と資源ゴミがどれほど重要なのかを、青空教室を通して学ぶことができ、貴重な体験となりました。

4歳児・5歳児 おこしもの作りを体験

稲葉保育園では、2月19日に4歳児と5歳児が「おこしもの作り」を行いました。昨年12月の「花もち作り」に続き、尾張旭市アグリ生活研究の方たちをお招きし、おこしもの作り方を教えていただきました。おこしものとは、米粉を熱湯で練り、木型にはめて型をおこしてから蒸し上げる愛知の郷土菓子です。

エプロンと三角巾を身に着けた子どもたちは、色粉で色をつけた米粉をどんな模様で配置しようか考えながら木型にはめ、おこしもの作りを体験しました。

鯛や宝船など昔ながらの型のほか、あさび(尾張旭市イメージキャラクター)やアンパンマンなどの木型があり、色とりどりの楽しいおこしものが出来上がり、おやつにみんなで美味しくいただきました。



(フラワービジネス科2年生)



(第28回卒業作品展を終えて記念撮影)



(青空教室の様子)



(おこしもの作り体験の様子)

* 菊武学園エコキャップ回収実績

累計 9,378,157 個(2025年2月末現在)